

船舶事故調査報告書

平成22年9月2日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委 員 横 山 鐵 男（部会長）
委 員 山 本 哲 也
委 員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年5月22日 06時00分ごろ～10時05分ごろの間）
発生場所	不明（青森県 <small>なかどまり</small> 中泊町 <small>こどもり</small> 小泊漁港～小泊港北防波堤灯台から真方位084° 約1,220mの間）
事故調査の経過	平成21年5月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報</p> <p>漁船 <small>しょうかん</small> 松還丸、0.98トン AM3-15439、個人所有 6.84m(Lr)×1.64m×0.40m、FRP ガソリン機関（船外機）、漁船法馬力数30、昭和52年2月28日</p> <p>船長 男性 48歳 一級小型船舶操縦士、特殊小型船舶操縦士、特定 免許登録日 昭和58年6月16日 免許証交付日 平成19年12月27日 (平成25年6月15日まで有効)</p>
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、刺し網漁を行うため、平成21年5月22日06時00分ごろ小泊漁港の係留地を出航した。</p> <p>本船は、予定の帰港時間を過ぎても戻らないため、船長の家族の依頼で、僚船による捜索が行われ、10時05分ごろ、網を船外に流出させ、無人状態で陸岸付近に漂着しているところを発見された。</p> <p>僚船の乗組員が、本船の刺し網を揚収したところ、10時30分ごろ、付近の海中で船長が発見された。</p> <p>船長は、僚船に救助されて病院に搬送されたが、死亡が確認された。</p> <p>船長の死因は、溺死であった。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 小雨、風向 南西、風力 1、気温 約15～16℃ 海象：平穏</p>
その他の事項	<p>本船が発見されたとき、本船のエンジンはアイドリングの状態であった。</p> <p>船長は、ふだん、救命胴衣を着用していたが、発見時は救命胴衣を着用しておらず、船内に置かれていた。</p>

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 なし 船長の死因は溺死であった。 本船は、船長が1人で乗り組み、06時00分ごろ小泊漁港を出航し、10時05分ごろ小泊漁港沖において、刺し網を船外に出したまま無人状態で漂着しているところを発見されていることから、この間において、操業中に船長が落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が青森県小泊漁港沖において操業中、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。	